

■学習会のお知らせ

レント資本主義とは何か

プラットフォーム企業がもたらす資本主義の変質と私たちの社会の行方を考える



■佐々木隆治さんのプロフィール
立教大学経済学部教授。日本MEGA編集委員会編集委員。専門はマルクスの経済理論、社会思想。マルクスのテキスト（著作、草稿、ノート、手紙）の精緻な解釈をつうじその実像を解明しつつ、マルクス理論の実践的意義をわかりやすく示す一般書の執筆にも意欲的に取り組んでいる。現在は、急速に進む経済のIT・AI化が労働と社会に与える影響について「プラットフォーム資本論」「レント資本論」の視角から鋭い論者が注目されている。著書『「新しい資本主義」とはなにか：レント資本主義と『資本論』の射程』（『世界』2022年6月）。著書は『私たちはなぜ働くのか』、『働いてもなぜ豊かになれないのか』、『カール・マルクス』、『マルクスの物象化論』、『マルクス資本論』『マルクス資本論第三巻』他。

■講師 佐々木隆治さん

立教大学経済学部教授・経済思想

■6月20日 [土] 16時30分～18時30分

16時開場

■松戸市民会館 201号室

■資料代 500円

■主催 社会民主党千葉県連合

Zoom参加希望者は下記へ連絡しメールアドレスを教えてください。

TEL 043-227-6361

MAIL daihyo@sdp-chiba.com

●いま世界の資本主義で何が起きているか

かつて資本主義は、工場を建設し、労働者を雇い、生産を拡大することで利潤を得る仕組みとして発展してきました。しかし現在、世界経済の中心に立っているのは、そうした「生産中心」の資本ではありません。

巨大IT企業、プラットフォーム企業、金融資本、知的財産権を握る企業、軍事・監視産業、データと通信を支配する少数の企業群——。彼らは、社会生活の「入口」や「関所」を支配することで、継続的に莫大な利益を吸い上げています。

検索、SNS、通販、クラウド、AI、決済、広告、住宅、医療、教育、通信、交通。

現代人は、それらを通らなければ生活できません。その「通行料」として、私たちの生活・労働・再生産から絶えず富が吸い上げられています。

いま世界では、この新たな支配形態を「レント資本主義」として捉える議論が大きく広がっています。

レント資本の拡大は、単なる経済問題ではありません。

それは、私たちの社会全体のあり方を変えつつあります。

●労働者の生活と労働条件の悪化

賃金は伸びない一方で、住宅費・教育費・医療費・通信費・サブスクリプション料金など、生活に不可欠な領域が次々と「レント化」され、生活コストは上昇しています。その結果、働いても生活が苦しくなる「再生

産危機」が深刻化しています。

● 市民社会と言論空間の悪化

SNS や動画プラットフォームは、公共空間ではなく巨大企業の収益装置です。アルゴリズムによる情報操作、センセーショナルリズム、分断と憎悪の拡散、デマと排外主義の増幅。言論空間そのものが、広告収益とデータ収奪の論理に従属させられています。

● 民主主義と政治への影響

巨大プラットフォーム企業や金融資本は、国家政策や選挙、世論形成にまで巨大な影響力を持つようになってきました。また、利潤率低下と経済停滞の中で、国家はますます財政・金融・軍事によって資本を支えるようになってきました。消費税増税、法人税減税、大企業への巨大補助金、金融緩和。その一方で、市民の生活や社会保障は圧迫されています。

● 軍需・監視産業への資本流入

近年、世界では軍事費が急増しています。AI、監視システム、サイバー戦、宇宙開発、無人兵器。レント資本は、国家安全保障・監視・軍事と結びつきながら、新たな巨大市場を形成しています。戦争や危機そのものが利益源となる構造がいつそう強まっているのです。

● 国際秩序の不安定化

米中対立、資源争奪、経済制裁、ブロック化、軍拡競争。現在の国際関係の激化の背景には、行き詰まりつつある世界資本主義と、レント獲得競争の激化があります。現代の戦争や排外主義、国家強権化は、偶然に生じているものではありません。

いま、何を考えるべきなのか。レント資本主義とは何か。

なぜ現在、それが世界経済の支配的形態になりつつあるのか。

それは私たちの生活、労働、民主主義、平和、そして未来に何をもたらすのか。

そして私たちは、それにどう対抗し、社会を立て直していくべきなのか。

今回の学習会では、この分野で先駆的な研究を続けてこられた立教大学の佐々木隆治氏を講師にお迎えし、現代資本主義の変容について学びたいと思います。

私たちの暮らしと社会の未来を考えるためにいま必要なのは、現代資本主義の構造を正面から理解することです。ぜひご参加ください。



佐々木隆治さんの著書の一部